

# 国語科

## 【研究主題】

豊かな言葉で思いや考えを伝え合う生徒の育成

## 【研究副主題】

生徒一人一人が自己の成長を実感する言葉の学び

## 公開授業

学級：2年1組 授業者：平山 和佳



## 絆を結ぶために ～意見文を投書しよう～

本校国語科では、単元のゴール（言語活動）に向けて複数の教材を組み合わせ、領域を横断しながら学びを進める総合単元学習に取り組んでいます。今年度、新しい教科書の使用が開始され、年間指導計画や単元構成を見直す必要に迫られています。先生方も、新しい教材の指導に悩んだり、教材研究にかけられる時間が増えたりして、負担を感じることもあるのではないのでしょうか。

そこで、光村図書教科書（令和7年度版）に書き下ろされた伊坂幸太郎「ヒューマノイド」を用いた新たな単元を提案いたします。本単元は、小説「ヒューマノイド」と、昭和時代から教科書に掲載され続けている随筆「字のない葉書」、吉野弘の詩「虹の足」の3作品で構成しました。単元のテーマを「絆」とし、体育大会で生まれた絆のすばらしさを実感した生徒に、改めて「絆」の意味を問い、3作品の読解学習を通して人とのつながりやこれからの生き方について考えを深めさせ、意見文にまとめさせる計画です。

当日は、小説「ヒューマノイド」の読解学習の山場の1時間を公開いたします。生徒自身が立てた学習課題（小課題・中心課題・発展課題）に対して、自己内対話や他者との対話で言葉をつないで解決を図ります。作品の主題に迫るとともに、単元のテーマについて考えを深める生徒の姿をどうぞ御覧ください。

## メタ認知との関わり

これまで本校国語科では、表現（話すこと・聞くこと、書くこと）の領域におけるメタ認知の明示的な指導について研究してきました。今回は、文学的文章の読解学習において、「課題の設定→課題の解決→振り返り」の各過程で、生徒のメタ認知を有効に働かせるための手立てを探ります。生徒がこれまでの学習の成果を活かしながら、予想を立てたり、方略を選択したりして、学びを調整しながら課題の解決を図ります。

詳細はこちら

長崎大学教育学部附属中学校教育研究協議会

令和7年6月20日（金）13:00～16:10

